

設置届の場合

変更届出の場合は、変更のある部分について、別紙に
変更前及び**変更後**の内容を対照させて記載してください

様式第7号（第35条関係）

該当するもの以外は二重線で消してください

提出日を記載してください

指定ばい煙発生施設設置（~~使用、変更~~）届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）

埼玉県〇〇〇環境管理事務所長

氏名又は名称、住所を記載してください
（※法人の場合は、本社の名称、住所、代表者の氏名）

該当する環境管理事務所名又は市名を
記載してください
（管轄はパンフレットを参照してください）

届出者 〒330-9301
さいたま市浦和区高砂3-15-1
〇〇工業株式会社
代表取締役社長 埼玉太郎
（電話番号 048-824-2111）

押印の必要はありません

該当するもの以外は二重線で消してください

埼玉県生活環境保全条例第52条第1項（~~第53条第1項、第54条第1項~~）の規定により、指定ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇工業（株） ◇◇工場	施設を設置する工場名、支店名、ビル名等を記載してください	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 ◇◇市〇〇1-2	※受理年月日	年 月 日
指定ばい煙発生施設の種類の	7項 廃棄物焼却炉	※施設の項番号（埼玉県生活環境保全条例別表第2の表1参照）及び種類を記載してください（※パンフレット参照）	
指定ばい煙発生施設の構造	別紙1のとおり。	例 1項 焼結炉 3項 焼成炉 7項 廃棄物焼却炉	※審査結果
指定ばい煙発生施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり。	※備考	

- 備考 1 「指定ばい煙発生施設の種類の」の欄には、同条例別表第2第1号の表に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 変更届での場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後 の内容を対照させること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを 除き、日本産業規格A4とすること。

同じ項番号の施設の場合、同時に複数の施設を届け出ることができます

指定ばい煙発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号		1号		
名称及び型式		廃棄物焼却炉 94DC型		
設置年月日		年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		令和 年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		令和 年 月 日	年 月 日	
規	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 L/h)		設置届出 → 着手予定年月日、使用開始予定年月日 使用届出 → 設置年月日 変更届出 → 設置年月日、着手予定年月日、使用開始年月日 をそれぞれ記載してください	
	原料の処理能力 (t/h)			重油換算で記載してください ・重油 1 ㍓は、液体燃料 1 ㍓、ガス燃料 1.6m ³ 、 固体燃料 1.6kg に相当します
	火格子面積(火床面積)又は羽口面断面積 (m ²)	1.44		
模	変圧器の定格容量 (kVA)			
	焼却能力 (kg/h)	124		
	燃焼室の容積 (m ³)			

- 備考 1 設置の届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用の届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 「規模」の欄には、埼玉県生活環境保全条例別表第2第1号の表の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。ただし、廃棄物焼却炉については燃焼室の容積を併せて記載し、廃棄物焼却炉で火格子のないものについては火格子面積に代えて火床面積を記載すること。
- 3 指定ばい煙発生施設の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙2

指定ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	9時～17時 8時間/回 1回/日 20日/月			時～	時	日/月
	季節変動	なし			時間/回	回/日	日/月
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類	紙くず・木くず			重量比、容量比の別を明らかにしてください		
	使用割合	紙くず10%・木くず90%					
	原材料中の成分割合(%)	硫黄分 カドミウム分 (容量比)	鉛分 弗素分	硫黄分 カドミウム分	鉛分 弗素分		
	1日の使用量	200 kg			重量比、容量比の別を明らかにしてください		
燃料又は電力	種類	灯油					
	燃料中の成分割合(%)	灰分	硫黄分 0.003% (容量比)	窒素分	灰分	硫黄分	窒素分
	発熱量	10,270 kcal/kg			高位発熱量を記載してください		
	通常の使用量(L/h)	10					
	混焼割合	専焼					
排出ガス量 (m ³ _N /h)	湿り	最大 通常	2599 2242	最大 通常	最大 通常		
	乾き	最大 通常	2504 2176	最大 通常	最大 通常		
排出ガス温度(℃)		390					
ばい煙の濃度	ばいじん (g/m ³ _N)	最大 通常	0.003 0.002	最大 通常	最大 通常		
	硫酸化合物 (容量比ppm)	最大 通常	27.6 19.2	最大 通常	最大 通常		
	カドミウム及びその化合物 (mg/m ³ _N)	最大 通常		最大 通常	最大 通常		
	塩素 (mg/m ³ _N)	最大 通常		最大 通常	最大 通常		
	塩化水素 (mg/m ³ _N)	最大 通常	325.8 228.1	最大 通常	最大 通常		
ばい煙の濃度	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/m ³ _N)	最大 通常		最大 通常	最大 通常		
	鉛及びその化合物 (mg/m ³ _N)	最大 通常		最大 通常	最大 通常		
	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ _N)	最大 通常		最大 通常	最大 通常		
ばい煙量	硫酸化合物 (m ³ _N /h)	最大 通常	0.069 0.048	最大 通常	最大 通常		
参考事項							

・ 乾きガス中の濃度を記載してください
 ・ 排ガス処理施設がある場合は、処理後の濃度を記載してください
 ・ 排出基準があるものは全て記載してください

- 備考1 「原材料中の成分割合(%)」の欄及び「燃料中の成分割合(%)」の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
 4 「参考事項」の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載すること

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号		1号		
処理に係る指定ばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号		1号		
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		ろ過集じん装置		
設置年月日	年月日	年月日	年月日	
着手予定年月日	令和 年月日	年月日	年月日	
使用開始予定年月日	令和 年月日	年月日	年月日	
排出ガス量 (m ³ _N /h)	最大	2599		
	通常	2242		
排出ガス温度 (°C)	処理前	950		
	処理後	390		
ばいじん (g/m ³ _N)	処理前	0.250		
	処理後	0.003		
硫酸化物 (容量比ppm)	処理前	27.6		
	処理後	27.6		
カドミウム及びその化合物 (mg/m ³ _N)	処理前			
	処理後			
塩素 (mg/m ³ _N)	処理前			
	処理後			
塩化水素 (mg/m ³ _N)	処理前	325.8		
	処理後	325.8		
弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/m ³ _N)	処理前			
	処理後			
鉛及びその化合物 (mg/m ³ _N)	処理前			
	処理後			
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ _N)	処理前			
	処理後			
ばい煙量 (m ³ _N /h)	最大			
	通常			
硫酸化物 (m ³ _N /h)	最大	0.069		
	通常	0.048		
捕集効率 (%)	ばいじん	99		
	硫酸化物			
	カドミウム及びその化合物			
	塩素			
	塩化水素			
	弗素、弗化水素及び弗化珪素			
	鉛及びその化合物			
ダイオキシン類				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	9時~17時 8時間/回 1回/日 20日/月		
	季節変動	なし		
	排出口の実高さ × 頂口径 (m)	(傘なし) 8.5 × 0.4		
補正された排出口の高さ He (m)	11.8			
排出速度 (m/s)	13.9			

乾きガス中の濃度を記載してください

設置届出 → 着手予定年月日、使用開始予定年月日
 使用届出 → 設置年月日
 変更届出 → 設置年月日、着手予定年月日、使用開始年月日をそれぞれ記載してください

次の計算式で計算してください

He = 排出口の実高さ (Ho) + 煙上昇高さ (ΔH)
 ΔH = 0.65 × (Hm + Ht) 【笠付煙突の場合は Hm, Ht = 0】

$$Hm = \frac{0.795\sqrt{Q \times V}}{1 + 2.58/V}$$

$$Ht = 2.01 \times 10^{-3} \times Q \times (T - 288) \times (2.30 \log J + \frac{1}{J} - 1)$$

$$J = \frac{1}{\sqrt{Q \times V}} (1460 - 296 \times \frac{V}{T - 288}) + 1$$

He: 補正された排出口の高さ
 Ho: 排出口の高さ
 Q: 15°Cにおける排出ガス量 (m³/s)
 V: 排出ガスの排出速度 (m/s)
 T: 排出ガス温度 (絶対温度 K)

- 備考1 設置届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 補正された排出口の高さHeは、埼玉県生活環境保全条例施行規則別表第4第1号ハの算式により算定すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

地上からの高さ×排出口の寸法を記載してください